

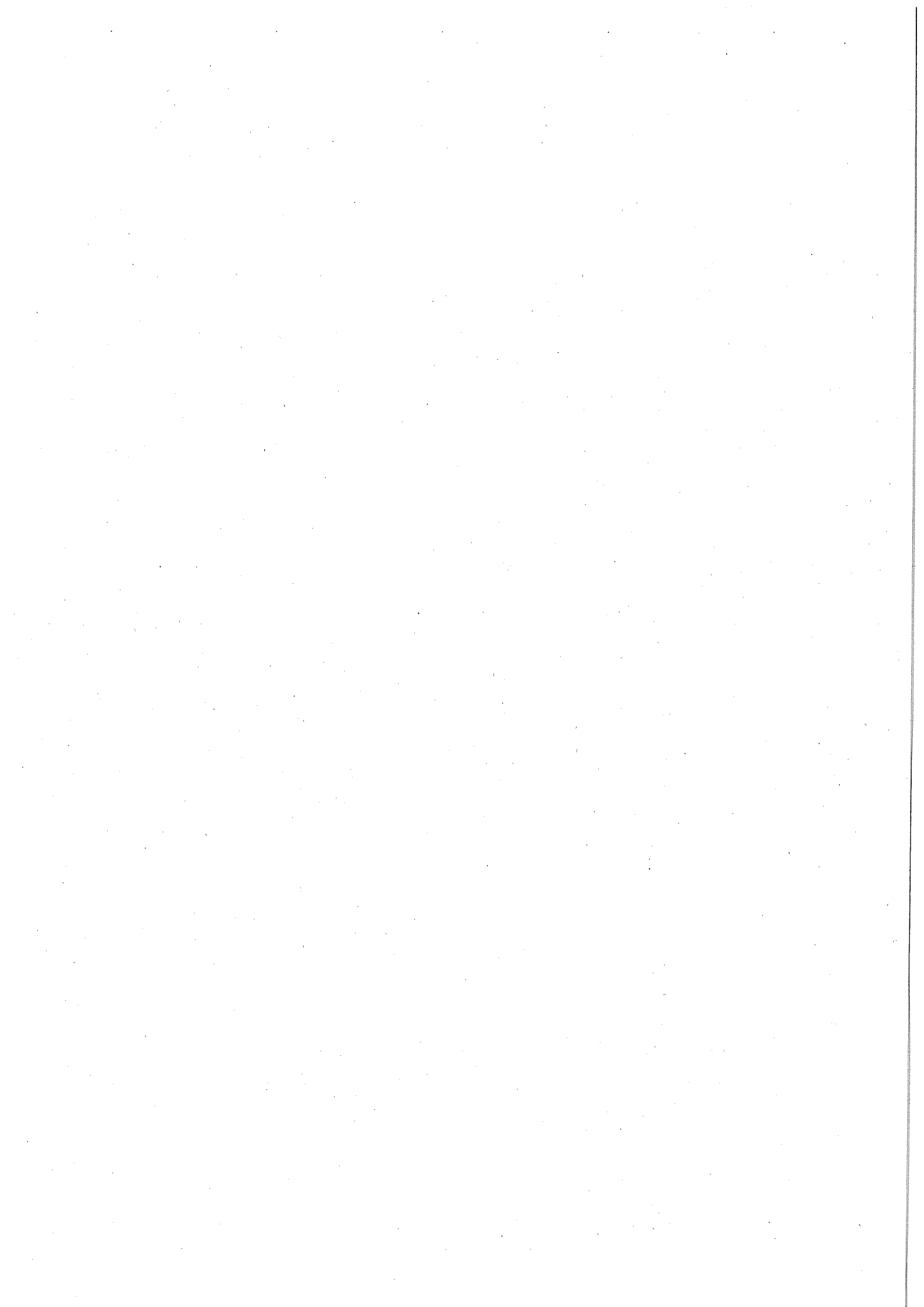
報告第 10 号

株式会社野田自然共生ファームの経営状況の報告について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定により、
株式会社野田自然共生ファームの平成30年度の決算に関する書類及び令和元
年度の事業の計画に関する書類を別添のとおり報告する。

令和元年6月7日提出

野田市長 鈴木 有



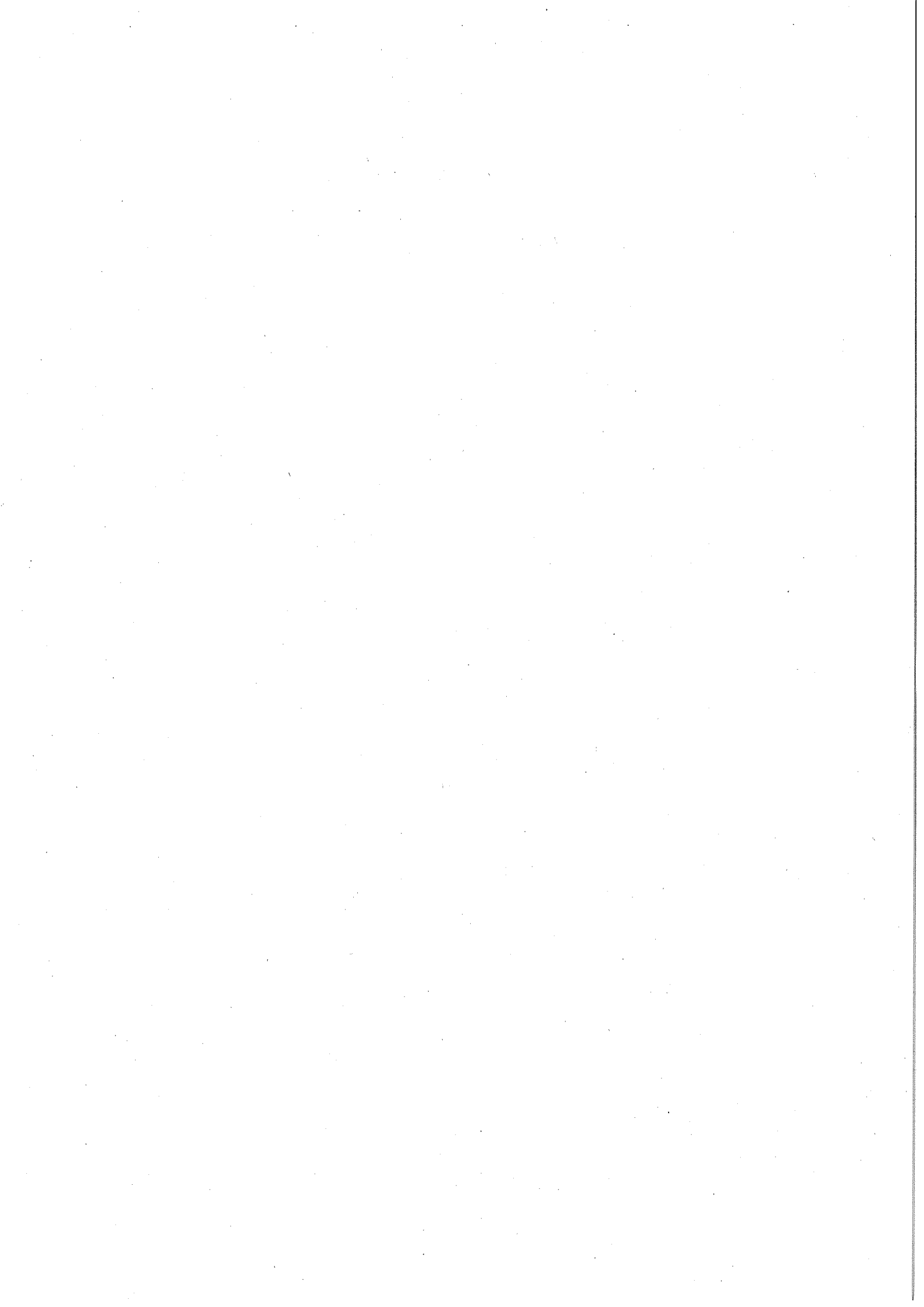
平成30年度 (第14期) 事業報告

平成30年度 (第14期) 決算報告

令和元年度 (第15期) 事業計画

令和元年度 (第15期) 予 算

株式会社野田自然共生ファーム



第 14 期 事 業 報 告

自 平成30年4月 1日
至 平成31年3月31日

江川地区においては、自然と共生する環境保全型農業を推進するため、引き続き薬剤を減らした環境に優しい水稲の生産を行うとともに、水田型市民農園の運営及び自然環境維持管理業務、コウノトリ飼育及び施設管理業務に取り組んでまいりました。

船形地区においては、麦、大豆の生産及び販売、さらに野田市堆肥センター運營業務、就農支援事業、小船橋水辺公園管理業務、東葛飾地域農林業センター運營業務等を行ってまいりました。

また、農業経営については、効率的経営や品質向上に努めてまいりました。

1 江川地区の農業事業

(1) 水稲の生産

江川地区の水田については、田んぼの均平化整備、除草作業等の管理を行うなど、自然と共生する環境保全型農業を推進しました。

しかし、今年度も圃場の状況が悪く、一部で収穫を断念した状況でしたが、それでも、1等米は昨年度の2倍以上の収穫が有りました。

今年度の総収穫量は下記のとおりです。

品 種 名	収 穫 量	J A 出荷米	市民農園配布	一般販売	その他
コシヒカリ	11,413kg	1等 5,814kg 2等 1,805kg	1,805kg	765kg	1,224kg

(2) 市民農園

市民農園はファミリー型、オーナー型の2種類を企画し田植え、草取り、稲刈りまでの技術指導や自然体験イベント、ホテル観察会、収穫祭等を行い自然環境に配慮した市民農園を運営してまいりました。

参加者総数は、昨年度より約60名多い結果となりました。

今年度の市民農園参加者内訳については下記のとおりです。

水田ファミリー型	水田オーナー型
128区画	16区画
公募による一般市民 (1区画当り 30㎡)	NPOちば支援センター・大学・企業 自然保護団体関係者等 (1区画当り 150㎡)
128名	259名
合 計	387名

(3) 農業体験学習等協力

1) 地元小学校米作り農業体験学習協力

米作り農業体験学習として、福田第一小学校児童(5年生)16名、福田第二小学校児童(5年生)7名、合計で23名を対象に田植え・生育調査・稲刈りを体験学習として実施いたしました。

2) 地元中学校スペシャルスタディー協力

福田中学校2年生が1年間を通し、江川地区をフィールドに理科の体験学習として行っているスペシャルスタディーに協力をいたしました。

2 船形地区の農業事業

(1) 農業生産調整事業

平成31年産麦の集団転作事業に基づくブロックローテーション(ブロック1)及び固定団地併せて約59.8ヘクタールの水田を船形互助転作組合との協議により借地いたしました。また、借地期間は1年とし、毎年10月1日から翌年9月30日まで借用しますが、大豆を作付けする水田については更に翌年2月頃まで借用します。

(2) 農業生産

1) 麦栽培

平成30年産麦については、大麦は約10.8ヘクタールに、小麦は約66.6ヘクタールにそれぞれ播種し、平成30年5月から6月にかけて刈り取り作業を行いました。

また、遊休農地対策として約3.1ヘクタールの畑に小麦を播種しました。収穫の状況については下記の通りです。

区分		JA出荷	種子更新	クズ	総収量
品 種	作付面積				
大麦(かしまぎ)	約10.8ha	1等 24.00 t 2等 13.99 t	0 t	2.7 t	40.69 t
小麦(さとのそら)	約66.6ha	1等 248.00 t	0 t	41.4 t	289.40 t
合 計	約77.4ha	285.99 t	0 t	44.1 t	330.09 t

ア ブロックローテーション面積

ブロック1 約54.6ha

ブロック2 約55.8ha

ブロック3 約69.1ha

イ 固定団地面積

船形富士の下 約5.2ha

ウ 遊休農地面積 約3.1ha

2) 大豆栽培

今年度の大豆については、タチナガハを11.8ヘクタールに、フクユタカを12.2ヘクタールに、サチユタカを12.8ヘクタールにそれぞれ播種しました。

その後、雑草抑制のため除草剤の散布や殺菌剤の散布、アブラムシ、ダニ類、コガネムシ、カメムシが異常発生したための防除等、生育状況に合わせた管理を行いました。

通常散布以外に、播種から9月まで極端に雨が少なく異状乾燥が続き、アカダニが発生したため、8月27日から9月14日までコロマイト乳剤を散布致しました。

その後、複数の台風の影響で高温多湿となり、べと病が発生したことから防除のため10月3日から17日までレーバスフロアブルを散布致しました。

収穫作業については、タチナガハは11月16日から12月3日、サチユタカは12月5日から10日、フクユタカは12月14日から20日に収穫を行いました。

収穫の状況については下記のとおりです。

区 分		販 売		種子更新	ク ズ	総収量
品 種	作付面積	J A出荷	小 売			
タチナガハ	11.8ha	3等 11,700kg 合格 660kg	900kg	0kg	1,250kg	14,510kg
フクユタカ	12.2ha	1等 12,150kg 2等 4,860kg 3等 1,260kg	900kg	0kg	1,075kg	20,245kg
サチユタカ	12.8ha	2等 17,280kg 3等 900kg	900kg	0kg	2,025kg	21,105kg
合 計	36.8ha	48,810kg	2,700kg	0kg	4,350kg	55,860kg

3 農業関係施設の運営事業

(1) 野田市堆肥センター運営業務受託事業

廃棄物の発生抑制、再利用を促進するため、剪定枝、刈草、落葉を活用して良質な堆肥を生産し、化学肥料の減量等による環境保全型農業を推進することにより、付加価値のある持続性の高い農業を展開するための施設の運営管理を行ってまいりました。

また、もみ殻牛ふん堆肥や剪定枝等堆肥の運搬散布を行い、市独自の有機堆肥を使って生産する農産物のブランド化を推進するため適切な施設管理を行ってまいりました。

更に、新たな取り組みとして、野田市畜産クラスター推進協議会からの依頼により、8月から12月には飼料用米の粳米を粉砕し、SGS（ソフト・グレイン・サイレージ）の加工及び酪農家への運搬を実施いたしました。

搬入量

- ・剪定枝・刈草・落葉搬入量・・・約 5,262トン
- ・もみ殻回収量・・・・・・・・・・約 693トン

搬出・運搬量

- ・剪定枝等堆肥の搬出量・・・・・・・・約 1,700トン
- ・もみ殻牛ふん堆肥の運搬量・・・・約 1,274トン

飼料用米粉砕加工（SGS）

- ・加工量・・・・・・・・・・・・・・約 209トン

(2) 東葛飾地域農林業センター運營業務受託事業

農林業センターの目的は、地域農林振興を図り、農林業者の研修、後継者の育成並びに交歓、相談等地域農林業の向上と自主性を図るとともに、農林業諸施策を円滑に推進することから、目的達成のため施設の管理を行ってまいりました。

4 その他の受託事業

(1) 小船橋水辺公園管理業務受託事業

小船橋水辺公園管理業務については、市民の憩いの場としてレクリエーションや休憩など気軽に利用できる施設管理を行ってまいりました。

園内の管理 受託面積 約1.3ha	
除草・芝刈	芝生の刈取りと雑草の除草作業を年2回実施
高木の剪定	枝の剪定と整枝、片付け作業を年1回実施
園内の清掃	駐車場、トイレ、園路の清掃を週1回実施
公園の巡回	いたずら防止等園内の巡回を週1回実施

(2) 自然環境維持管理業務受託事業

江川地区の自然環境調査、自然に配慮した農園の維持管理作業、自然環境を考慮した米づくりの実施等について、野田市の策定する「自然環境保護対策基本計画」に基づき維持管理を行いました。

(3) はきだし沼周辺田の整地業務受託事業

船形耕地のはきだし沼及びその周辺に生息する希少生物の生育環境整備のため除草作業を実施しました。

(4) 関宿落堀ビオトープ管理業務受託事業

関宿落堀ビオトープの除草作業3回及び月1回の見回りとゴミ拾いを実施しました。

(5) 江川地区保全業務受託事業

減反政策中止に伴う新たな野田市からの受託業務で、当社所有地及び耕作をしていない周辺の農地約47ヘクタールにおいて、コウノトリなどの採餌環境を整備いたしました。

(6) 尾崎地区保全業務受託業務

減反政策中止に伴う新たな野田市からの受託業務で、尾崎地区の生物多様性の保全された良好な自然環境を回復させるための除草業務を実施しました。

5 コウノトリ飼育及び施設管理業務受託事業

平成30年4月1日から平成31年3月31日までコウノトリ飼育等業務を受託し、飼育管理を行うとともに、産卵、孵化、育雛等飼育員の知識や技術向上のための各種研修に参加しました。

また、飼育施設の管理、視察や見学者の対応などを行いました。

特に、平成30年3月に孵化した雛3羽の命名式と放鳥が、6月2日に野田市このとりの里で行われ、「きらら」、「りく」、「だいち」と命名されました。

今回の放鳥も、昨年同様ソフトリリースで、ケージの屋根を開放し、雛は自然に飛んでいく方式で行いました。

命名式の後にケージを飛び立ち、「きらら」と「だいち」にいたっては8月までの約3カ月間江川地区に滞在しました。

また平成28年と29年に放鳥した「ひかる」と「ヤマト」が江川地区に戻り、「きらら」と「だいち」の4羽で生活する姿が確認されました。

江川地区を離れ飛び去った後に、「だいち」は8月に茨城県で事故に遭い保護されましたが、残念ながら数日後に死亡してしまいました。また、「きらら」が平成31年1月に栃木県で事故に遭い、その後約1カ月間生存していましたが、2月に死亡が確認されました。

今年は、3月29日に東京都の多摩動物公園から譲り受けた有精卵の托卵による孵化を行いました。

なお、平成30年4月1日から平成31年3月31日までの、コウノトリ観察棟入場者は6,743名（来館名簿記入者）でした。

6 就農支援事業

市と協働で新規就農希望者に対して事業を実施しました。生産は、枝豆、ホウレンソウ、キャベツ、白菜、モロヘイヤ、春菊、人参を栽培し総収量73,824キログラムをJA出荷及び市内直売所へ出荷しました。

また、翌年産用の枝豆、人参は5月中旬出荷を目標に播種しました。

- ・平成30年度就農希望者述べ人数4名

7 取締役及び他の役員（第14期 平成30年度）

区 分	氏 名	備 考
代 表 取 締 役	鈴木 有	野田市長 平成30年5月29日退任
代 表 取 締 役	今村 繁	野田市副市長 平成30年5月30日就任
常 務 取 締 役	木全 敏夫	
取 締 役	佐藤 眞平	野田市建設局長
取 締 役	山下 敏也	野田市自然経済推進部長
取 締 役	伊藤 敏弘	
取 締 役	菅澤 治	
取 締 役	相島 一美	
会 計 参 与	秋葉 芳秀	税理士
監 査 役	濱田 宏志	税理士

8 株式の状況（平成31年3月31日現在）

(1) 株主数・・・・・・・・・・・・・・・・5名

(2) 株主

株主名	持株数	持株比率
千葉県野田市	6,206株	99.9195%
木全敏夫	2株	0.0322%
伊藤敏弘	1株	0.0161%
菅澤治	1株	0.0161%
相島一美	1株	0.0161%

9 経過概要

平成30年4月1日から平成31年3月31日までの主な経過概要

月 日	曜 日	主 な 経 過 概 要
4月16日	月	麦防除開始
4月29日	日	市民農園 田植え
5月22日	火	大麦刈取り開始
5月22日	火	定時取締役会（次期取締役会及び会計参与並びに監査役候補者の選任の件他）
5月23日	水	コウノトリ一斉捕獲
5月29日	火	定時株主総会（次期取締役会及び会計参与並びに監査役候補者の選任の件他）
5月29日	火	鈴木有代表取締役退任
5月30日	水	今村繁代表取締役就任
5月31日	木	台湾行政院農業委員会江川地区視察
6月1日	金	大麦刈取り終了
6月2日	土	小麦刈取り開始 コウノトリ命名式及び放鳥
6月7日	木	大麦検査
6月10日	日	江川地区市民農園 第1回草取り及び自然観察会
6月28日	木	小麦刈取り終了
7月1日	日	市民農園 第2回目 草取り
7月2日	月	市民農園 大正大学草取り
7月13日	金	福田第一小・第二小 稲育成観察と生物調査
7月21日	土	ICEBAinいすみ(農業国際会議) 4名参加
8月4日	土	市民農園 ホタル観察会
8月26日	日	市民農園 稲刈り
8月28日	火	定時取締役会（第14期第1四半期事業報告の件）
8月30日	木	平成30年度放鳥コウノトリ「だいち」死亡
9月7日	金	農業体験学習 福田第一・第二小学校 稲刈り
9月18日	火	コウノトリ親鳥同居開始
10月10日	水	利根運河協議会 江川地区・こうのとりの里視察
10月14日	日	市民農園 収穫祭
10月22日	月	船形環境保全会 薩摩芋収穫協力
11月2日	金	神奈川県農業会議 当社の取り組み視察
11月15日・16日	木・金	船形環境保全会先進地視察 2名参加
11月20日～22日	火～木	北部中学校職場体験学習 2年生2名
11月27日	火	定時取締役会（取締役の辞任の件、第14期第3四半期事業報告の件、第14期上半期経営状況報告の件、平成31年度市民農園募集の件）
12月5日	水	第一種動物取扱業登録証交付
12月12日	水	コウノトリ一斉捕獲
1月29日	火	千葉県農業改良普及事業70周年記念大会普及事業厚労省表彰
2月17日	日	平成30年度放鳥コウノトリ「きらら」死亡
2月20日	水	臨時取締役会（船形事業所乾燥施設等改修工事に係る融資の件）
2月24日	日	第4回田んぼの生物多様性向上10年プロジェクト全国集会
3月1日	金	コウノトリ有識者会議
3月28日	木	定時取締役会（第14期第3四半期事業報告の件、船形事業所乾燥施設等改修工事に伴う契約締結の件、野田市こうのとりの里第1種動物取扱業登録書交付の件、第15期事業計画及び予算承認の件）

第 1 4 期

決 算 報 告 書

平成30年 4月 1日から

平成31年 3月31日まで

株式会社 野田自然共生ファーム
(法人番号:5040001072121)

貸借対照表

商号 株式会社 野田自然共生ファーム

代表者 今村 繁

平成31年 3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
I 流 動 資 産	(144,772,312)	I 流 動 負 債	(62,993,213)
金 及 び 預 金	111,212,753	未 払 金	11,989,965
売 上 掛 金	336,242	未 払 法 人 税	3,178,323
た な 卸 資 産	15,456,316	未 払 消 費 税	414,200
未 収 入 金	17,328,037	未 前 受 金	3,425,100
営 業 安 定 積 立 金	507,964	与 引 当 金	41,270,673
貸 倒 引 当 金	69,000		500,952
	△		2,214,000
II 固 定 資 産	(234,879,071)	II 固 定 負 債	(13,890,000)
形 固 定 資 産	(234,760,031)	長 期 借 入 金	7,200,000
建 築 物	23,271,630	退 職 給 付 引 当 金	4,190,000
機 械 及 び 装 置	3,421,795	農 業 経 営 基 盤 強 化 準 備 金	2,500,000
機 器 運 搬 具	23,009,605		
車 両 及 び 備 品	1,062,507		
工 具 器 具 及 び 備 品	2,401,580		
建 物 附 属 設 備	6,355,687		
土 地 建 物 附 属 設 備	174,908,745		
一 括 償 却 資 産	328,482		
無 形 固 定 資 産	(50,000)		
保 証 金	50,000		
		負 債 の 部 合 計	76,883,213
		(純 資 産 の 部)	
投 資 そ の 他 の 資 産	(69,040)	I 株 主 資 本 金	(302,819,620)
出 資 金	10,000	1. 資 本 金	100,000,000
敷 金	10,000	2. 資 本 剰 余 金	183,032,296
長 期 前 払 費 用	49,040	(1) 資 本 準 備 金	155,275,000
		(2) そ の 他 資 本 剰 余 金	27,757,296
		3. 利 益 剰 余 金	19,787,324
		(1) そ の 他 利 益 剰 余 金	19,787,324
		繰 越 利 益 剰 余 金	19,787,324
		II 評 価 ・ 換 算 差 額 等	(0)
III 繰 延 資 産	(51,450)		
水 道 加 入 金	51,450	III 新 株 予 約 権	(0)
		純 資 産 の 部 合 計	302,819,620
資 産 の 部 合 計	379,702,833	負 債 ・ 純 資 産 の 部 合 計	379,702,833

損益計算書

平成30年4月1日から
平成31年3月31日まで

商号 株式会社 野田自然共生ファーム

(単位:円)

科 目	金 額	
I 売 上 高 農 産 物 売 上 高 業 務 受 託 収 入 等 市 民 農 園 収 入 作 付 助 成 金 ・ 交 付 金 収 入	19,501,536 115,111,669 1,046,550 92,962,937	228,622,692 228,622,692
II 売 上 原 価 期 首 た な 卸 高 当 期 農 業 原 価 合 期 末 た な 卸 高 売 上 総 利		0 207,779,921 207,779,921 0 207,779,921 20,842,771
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 営 業 損 失		33,998,451 33,998,451 13,155,680
IV 営 業 外 収 益 受 取 補 助 金 収 入 一 般 取 配 収 入 受 雑 収 入		3,466 4,459,500 50 14,611,791 19,074,807
V 営 業 外 費 用 支 線 延 資 産 債 権 却 却		66,558 17,638 84,196
経 常 利 益		5,834,931
VI 特 別 利 益 固 定 資 産 売 却 益		80,000 80,000
VII 特 別 損 失 固 定 資 産 売 却 除 却 損 農 業 経 営 基 盤 強 化 準 備 金 繰 上 げ 特 別 償 却 費		1 2,500,000 1,029,888 3,529,889
税 引 前 当 期 純 利 益		2,385,042
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税		832,625
当 期 純 利 益		1,552,417

販売費及び一般管理費の計算内訳

平成30年4月1日から
平成31年3月31日まで

(単位:円)

科 目	金 額
伝 達 費	37,000
宣 配 手 数	539,137
告 送 売	665,117
イ ベ ン ト 費	279,088
役 員 報 酬	7,719,840
事 務 員 給 与	12,576,442
従 業 員 賞 利	1,962,000
法 定 福 生 費	2,981,485
厚 退 職 償 却 金	88,633
減 価 償 却 料	254,000
賃 借 料	73,262
事 務 用 消 耗 品	1,035,592
通 信 光 熱 費	1,001,532
水 道 光 熱 費	1,478,147
租 税 公 課	245,031
接 待 交 際 費	271,610
保 険 料	23,211
備 品 消 耗 品 費	60,690
管 理 諸 費	757,069
交 通 費	1,384,037
貸 倒 償 却 費	304,950
雑 費	40,000
合 計	220,578
	33,998,451

農 業 原 価 報 告 書

平成 30 年 4 月 1 日 から
平成 31 年 3 月 31 日 まで

(単位:円)


科 目	金 額
I 材 料 費	
期首材料たな卸高	148,202
種 苗 費	3,545,022
合 計	3,693,224
期末材料たな卸高	155,487
当期材料費	3,537,737
II 労 務 費	
賃 金	72,103,220
賞 与	8,816,000
退 職 金	384,000
法 定 福 利 費	13,040,263
厚 生 費	1,563,958
当 期 労 務 費	95,907,441
III 経 費	
肥料費・農薬衛生費	11,240,336
外注作業費	1,159,722
電力費	3,076,621
軽灯油等燃料費	12,618,210
運賃	401,560
減価償却費	16,121,632
修繕費	16,070,812
租税公課・負担金	1,030,300
賃借料・リース料	23,641,606
共済掛金・保険料	1,649,787
諸 資 材 費	11,706,201
農 具 費	781,958
交 通 費	1,703,610
図 書 費 ・ 研 修 費	745,532
車 両 関 係 費	2,031,571
土 地 改 良 費 ・ 水 利 費	2,084,509
雑 費	671,735
当 期 経 費	106,735,702
当期総農業費用	206,180,880
期首農産物等棚卸高	11,569,390
合 計	217,750,270
期末農産物等棚卸高	9,970,349
当期農業原価	207,779,921

監査報告書

株式会社野田自然共生ファームの第14期(自平成30年4月1日
至平成31年3月31日)貸借対照表、損益計算書及び附属明細書
について監査した結果、いずれも会社法の規定に準拠し、適正に処
理されていると認めます。

令和元年5月13日

株式会社野田自然共生ファーム

監査役 瀬田 宏志  印

第 15 期 事 業 計 画

自 平成 31 年 4 月 1 日

至 令和 2 年 3 月 31 日

江川地区において、自然と共生する環境保全型農業を推進するため、引き続き減農薬による水稻の生産を行うとともに、水田型市民農園及び自然環境維持管理業務など、更に自然と共生する農業を推進してまいります。

船形地区におきましては、麦及び大豆の生産・販売、小船橋水辺公園の管理業務等を行ってまいります。

また、就農支援事業につきましても人参、枝豆、キャベツを中心とした野菜の生産・販売の実務研修を行ってまいります。

さらに、野田市からの委託事業として、コウノトリ飼育及び施設管理業務、東葛飾地域農林業センターの管理業務、農業関係施設の管理業務を行ってまいります。

なお、農業経営については、引き続き効率的経営に努め、安定経営を目指してまいります。

1 江川地区の農業事業

近年圃場の含水率が高く、冬場でも水が抜けないなど、水稻作付けが困難な圃場が出てきておりますので、当面は冬期湛水場所の交換などの対策を行いながら圃場の再整備を図り、収穫量増を目指してまいります。

(1) 圃場整備作業

水稻生産予定区域において圃場整備作業を実施する。

- 1) 作業内容 ①除草作業
- ②水路の整備作業
- ③均平・整地作業
- ④畦畔整備作業

(2) 水稻生産

- 1) 生産目標面積 約 5.2 ヘクタール (市民農園圃場含む)
- 2) 目標収穫量 約 9 トン

(3) 市民農園の実施

面積 約 2.1 ヘクタール

募集内容 ファミリー型 500 区画 オーナー型 40 区画

(4) エコロジカルネットワークへの取組み

- コウノトリ野生復帰計画への全面的協力
- 水路整備 (魚道整備含む)
- 里地里山の保全

(5) 江川地区保全業務

当社所有農地で、耕作をしていない約25ヘクタールの農地及びその周辺の民地で耕作をしていない農地、あわせて約47ヘクタールにおいて自然環境保護のための整備を行ってまいります。

2 船形地区の農業事業

(1) 麦及び大豆の生産

水田における麦及び大豆の生産については、船形地区の水田を船形互助転作組合から借地して行うもので、千葉県東葛飾農業事務所の技術指導を受けて、栽培基準に基づき作業管理を行うとともに、従業員の研修を通し、栽培技術のレベルアップと平準化を図り、品質及び収穫量の向上に努めてまいります。

適期作業の励行	気象条件と作業適期の検討	随時
土壌検査	地力、施肥量の把握	年2回
研修会	社内外研修会	年4回程度
販路の拡大	販売店舗の拡大・ネットワークの活用	
令和元年産麦生産目標 (令和元年6月収穫予定)	作付面積 60.1ヘクタール 大麦(カシマムギ) 10.6ヘクタール 小麦(さとのそら) 49.5ヘクタール 目標収穫量 178トン 大麦 28トン 小麦 150トン	
令和2年産麦生産目標 (令和元年11月播種予定)	作付面積 61ヘクタール 大麦(カシマムギ) 10ヘクタール 小麦(さとのそら) 51ヘクタール	
令和元年産大豆生産目標 (令和元年12月収穫予定)	作付面積 31.5ヘクタール タチナガハ 9.5ヘクタール フクユタカ 10.6ヘクタール サチユタカ 11.4ヘクタール 目標収穫量 45トン タチナガハ 13トン フクユタカ 16トン サチユタカ 16トン	

3 農業関係施設の運営業務

1) 野田市堆肥センター運営業務

廃棄物の発生抑制、再利用を促進し、剪定枝、刈草、落葉を活用して良質な堆肥を生産し、化学肥料の減量等による環境保全型農業を推進することにより、付加価値のある持続性の高い農業を展開するための施設の運営管理、もみ殻と牛ふんを使った有機肥料の生産と運搬散布を行い、市独自の有機肥料を使って生産した農作物のブランド化を推進するため適切な施設管理を行ってまいります。

さらに、野田市畜産クラスター推進協議会が実施する、麦SGS（ソフト・グレイン・サイレージ）加工作業の協力も含め、令和元年度も継続してこれらの事業を受託しようとするものです。

2) 東葛飾地域農林業センター施設管理業務

地域の農林振興を図るため、農林業者の研修、後継者の育成並びに交歓、相談等地域農林業の向上と自主性を図るとともに、農林業諸施策を円滑に推進するため適切な施設管理を行ってまいりました。令和元年度も継続して受託しようとするものです。

4 その他の受託事業

(1) 小船橋水辺公園管理業務

市民の憩いの場として気軽に利用できる施設管理を下記のとおり行ってまいりました。令和元年度も継続して管理を受託しようとするものです。

園内の管理		
除草・芝刈	雑草の除草作業と芝生の刈取り	年2回
高木の剪定	枝の剪定と整枝作業	年1回
園内の清掃	駐車場、トイレ、園路の清掃	週1回
公園の巡回	いたずら防止等園内の巡回	週1回

(2) 休耕地草刈業務

希少生物の保護を目的として船形はきだし沼周辺の休耕地の草刈等について、令和元年度も継続して受託しようとするものです。

(3) 関宿落堀ビオトープ管理業務

平成27年度から受託しており、年3回の草刈及び月1回の見回り等の管理を行っておりますが、令和元年度も継続して受託しようとするものです。

(4) 尾崎地区保全業務委託事業

尾崎地区の生物多様性の保全された良好な自然環境を回復させることを目的に尾崎地区保全業務を令和元年度も継続して受託しようとするものです。

5 コウノトリ飼育事業

野田市において平成24年12月4日から飼育を開始した国の特別天然記念物コウノトリについて、毎年幼鳥が孵化し、4年連続で試験放鳥するなど順調に飼育管理をまいりました。

令和年度も継続してコウノトリ飼育事業を受託しようとするものです。

6 就農支援事業

人参、枝豆、キャベツを中心とした栽培を計画しております。

作付けする面積については、約2.8ヘクタールを借地しておりますが、栽培の状況に応じて更に面積を拡大しようとするもので、売上は年間580万円を目標としております。

また、野田市農産物ブランド化推進協議会からの開設依頼により、令和元年度も枝豆オーナー制度に係わる農園を継続開設しようとするものです。

収入				支出				
項目	予算額			項目	予算額			
	第14期	第15期	比較		第14期	第15期	比較	
1 農業生産売上	47,757	48,041	284	1 農業製造原価	193,134	211,579	18,445	
(1) 水稻売上	2,000	2,000	0	(1) 材料費	324	2,700	2,376	
(2) 麦売上	2,800	2,800	0	(2) 労務費	40,305	40,059	-246	
(3) 大豆売上	7,000	7,000	0	(3) 農業経費	43,707	46,797	3,090	
(4) 市民農園売上	680	500	-180	① 肥料費・農業衛生費	7,581	8,230	649	
(5) 経営所得安定対策等(国)	35,277	35,741	464	② 電力費	908	1,091	183	
2 農業受託売上	117,378	131,092	13,714	③ 軽灯油等燃料費	2,350	2,727	377	
受託業務	① 小船橋水辺公園管理	1,448	1,549	101	④ 修繕費	3,893	4,039	146
	② 自然環境維持管理業務	3,198	3,227	29	⑤ 賃借料・リース料	1,023	1,129	106
	③ 堆肥センター運營業務	93,940	101,916	7,976	⑥ 共済掛金・保険料	1,962	1,790	-172
	(堆肥センター)	50,651	57,591	6,940	⑦ 麦団地賃借料	19,900	21,000	1,100
	(もみ殻施設)	43,290	44,326	1,036	⑧ 土地改良費・水利権	2,083	2,085	2
	④ 農林業センター運營業務	2,141	2,135	-6	⑨ その他	4,007	4,706	699
	⑤ 休耕地草刈等	181	5,430	5,249	(4) 小船橋水辺公園	1,064	1,469	405
	⑥ コウノトリ飼育等委託業務	15,234	15,873	639	(5) 自然環境維持	2,979	3,059	80
	⑦ 冬期湛水水田管理委託	880	600	-280	(6) 堆肥センター	89,798	96,672	6,874
⑧ 関宿落堀ピオトープ管理業務	356	362	6	(7) 休耕地草刈等	181	5,430	5,249	
3 補助金収入	33,575	25,562	-8,013	(8) コウノトリ飼育等	14,435	15,049	614	
(1) 県補助金	6,207	6,070	-137	(9) 関宿落堀ピオトープ	341	344	3	
(2) 市補助金	4,026	0	-4,026	2 販売及び一般管理費	19,678	20,078	400	
(3) 就農支援事業	20,579	19,492	-1,087	(1) 農林業センター	2,141	2,135	-6	
(4) 転作定着化促進事業	0	0	0	(2) 人件費等	13,515	13,565	50	
(5) 地上防除奨励金・薬剤購入補助金	2,763	0	-2,763	(3) その他	4,022	4,378	356	
4 雑収入	13,800	13,800	0					
補償料等	13,800	13,800	0					
小計	212,510	218,495	5,985	小計	212,812	231,657	18,845	
5 資本金・資本準備金	30,225	43,212	12,987	3 就農支援事業費	20,579	19,492	-1,087	
				4 退職金積立金	668	650	-18	
				5 機械購入費	8,139	9,908	1,769	
				6 農地取得費	537	0	-537	
				7 分割返済・金利支払	0	0	0	
小計	30,225	43,212	12,987	小計	29,923	30,050	127	
合計	242,735	261,707	18,972	合計	242,735	261,707	18,972	